

旅行取扱状況の概観（平成28年3月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比101.7%と前年から上回ったが、学生団体は同83.6%と下回り、団体旅行合計で同92.4%と前年を下回った。企画旅行については前年比108.1%と前年を上回ったが、個人旅行については同91.9%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比99.4%と前年から微減となった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比98.1%と前年から下回り、学生団体は同104.9%と前年を上回った。その結果、団体旅行合計で同101.0%と前年上回った。企画旅行については前年比91.8%、個人旅行については同96.1%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、94.2%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比128.4%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は前年比97.8%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は大型のSITや企業系コンベンションの取扱いの影響で、前年比102.1%と前年を上回った。学生団体はテロ等の外的要因も含め修学旅行、研修旅行ともに取扱い団体数の減少により、同83.5%と前年を下回り、海外団体旅行合計で同92.5%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年にあった大型の企業系コンベンションの影響で、前年比97.7%と下回ったが、学生団体は複数の大型修学旅行の取扱いや、各種スポーツ大会の取扱いにより前年比105.6%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比101.1%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比93.4%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、東北、北陸、南紀、中国四国、九州は好調を維持しているものの、全般的に伸び悩んだ。

ホリデイは、テロ等外的要因はあったものの、取扱額で前年比107.1%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、ハワイ・アメリカ・オセアニア・ミクロネシア・台湾が前年を超えており、全方面合計で前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、パリやトルコで発生したテロの影響はあったものの、イースター島のチャーターやアジア方面が好調であり、取扱額で前年比105.0%と前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道新幹線の開通効果はあったものの、全体的にはスキーバスの転落事故の影響で販売が鈍化し、前年比89.5%と前年を下回った。

バス旅行部門は、スキーバスの転落事故の影響が大きく残っており、前年比87.4%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、富士山すそのウォークなどのシリーズ商品や、徳川美術館貸切といった大型のイベントも好調であり、前年比116.2%と前年を大きく上回った。